パモジャ PAMOJA 音年海外



第21号

青年海外協力隊 巣守 世那 2025年 I0月20日発行

タンザニアの給食

Hamjambo?

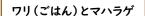
タンザニアには給食のようなものがあります。2、4、6年生が対象で、学校で作ったご飯を食べるのですが、お金を払った子しか食べることができません。でも、食べられない子がいると、周りの子に「ちょうだい」と言ってもらったり、給食がある子が「一緒に食べよう」と言って分けてあげたりしている姿をよく見ます。ちなみに、1年生は12時には下校なので、お家に帰ってご飯を食べます。3、5年生も学校の給食を食べられますが、14時から15時まで休み時間があり、その時間に家に帰ってお家でご飯を食べる子もいます。

給食のメニューは2つです。5日間のうち4日間は「ごはんとマハラゲ(豆をココナッツで似たもの)」です。そして1日だけ「ピラウとカチュンバリ(トマトとキャベツとにんじんのサラダ)」の日があります。ピラウの日は、作っているときからいい匂いが教室に漂ってきます。ピラウは大人気なのでみんな楽しみにしています。

日本で給食を食べていた時は、毎日メニューが違うのがあたりまえでしたが、それがどんなに 恵まれていることなのかを実感しています。給食を作ってくれる方々や、栄養のバランスを考えて くれる栄養士さんに、感謝の気持ちを忘れずにいたいですね。

みなさんの好きな給食は何ですか?Tutaonana tena!







ピラウとカチュンバリ





給食を食べるときは、それぞれが好きな場所で食べています。スプーンで食べる子もいますが、 ほとんどの子が手でご飯をとって丸めて食べます。その様子を見ていると、みんな「カリブ~トゥレ ~(一緒に食べよう)」と言ってくれます。









給食を作っている場所は、外にあります。

大きな鍋で、ごはんを炊いています。タンザニアのご飯は、油とココナッツ ミルクと塩を入れてつくります。